

総選挙を働くルール確立の一步に

いま働く現場は、「働く貧困層」の増大や長時間・超過密労働、賃下げや雇用破壊など、異常な事態になっていきます。その根本は、政府が、財界のいいなりになって、人間らしく働くためのルールを壊してきたからです。いま、政治の中身を変えて働くルールの確立がもとめられています。

ひどい働かされ方の原因は

年収2百万円にとどかない「働く貧困層」は1,032万人。働く人の3人に1人、若者・女性では2人に1人が非正規雇用です。派遣や偽装請負が急速に広がったのは、1999年の派遣法大改悪で、それまで派遣労働を専門業務

に限定していたものを、原則自由化したからです。

異常な長時間・過密労働が働く人たちの身体と心の健康をむしばみ、命さえ奪うような事態を生み出しています。日本の労働基準法には、残業時間の上限を法律で規定していないという他の主要国にはない異常な問題があります。さらに、いくら働かせても残業代を払わない「サービス残業」も放置されています。

一生懸命働いても貧困からぬけだせない原因の一つに、最低賃金の低さがあります。地域別に決めている最低賃金の全国平均は、時給六百八十七円です。最低賃金が生活保

護費を下回る「逆転現象」がある都道府県もあります。

政治の中身を変える機会

今度の総選挙

を「自民か、民主か」の「政権選択」の選挙と



描く論調が氾濫していますが、大事なことは、こんなひどい働かされ方を変えるためには、政治の中身を変えて、人間らしく働けるルールづくりの一步にすることです。選挙は自らが政治に参加し政治を変える絶好の機会です。

自らの意思で、本当に働く者の要求を実現してくれる政党や候補者を選びましょう。

「赤旗」号外を紹介

上記比較表は、日本共産党「しんぶん赤旗」（08年10月号外）から転載しました。
（本文全文は、日本共産党のホームページの「ダウンロード」コーナーから利用できます）

ヨーロッパ並みの働くルールをめざそう

こんなに違う日本とヨーロッパの労働条件

	ヨーロッパ	日本
労働時間規制	フランス 週35時間。残業時間の上限は年間220時間 ドイツ 残業時間は、年間60日を限度に1日10時間まで延長可能	時間外労働の限度基準は年間360時間。しかし、特別協定を結べば、時間外労働は青天井でできる仕組みになっている。
有給休暇	フランス 長期のパカンスを取るのが常識。年休は完全取得され、取得日数は30日。 ドイツ 年休完全取得は常識。取得日数は31日。	年休は最大20日付与される。しかし、要員不足で年休の完全取得ができない。取得日数は8.3日（取得率は46.6%）という低水準。
パート・派遣労働	派遣労働は一時的臨時的業務に制限。 フランス 賃金・諸手当は正社員の労働時間と平等比例、パートから正社員への転換も促進。	派遣労働は原則自由。パート、派遣労働者の賃金は劣悪。パートの8割が年収150万円未満。派遣労働者も7割が250万円未満。
育児休暇	フランス 子どもが3歳に達するまで、育児休暇後は以前と同じか同程度の職に復帰できる。 ドイツ 子どもが3歳になるまで最長3年間。	最長で子が出生した日から、1歳に達する日まで。復職については、休業中、休業後の労働条件を周知する努力義務が企業にある。
年金の最低加入期間・所得代替率（注）	フランス 最低加入期間は3カ月。所得代替率は68.8%。 ドイツ 同5年、71.8%	最低加入期間は25年。所得代替率はモデル世帯で現在59.3%、2025年度に50.2%。共働き世帯は同46.4%、25年度39.3%まで減少。

注）年金所得代替率とは、現役世代の平均的な手取り賃金に対する年金の割合。
資料：JILPIT「データブック国際比較2008」、経済財政諮問会議資料、厚生労働省「2005～2006年海外情勢報告」などから作成

日立 懇

＜発行＞2008年10月号
＜茨城日立地区版＞

日立関連労働者懇談会

〒108-0073 東京都港区三田3-2-20

（電機労働者懇談会気付）

TEL(03)3455-6006 FAX(03)3451-3595

http://www.hitachikon.net

E-MAIL info@hitachikon.net

最寄の連絡先 090-8747-6239（馬場）



仕事は社員、処遇はシニア

再雇用後も仕事に関しては一般社員と同じ扱いで期限や成果が求められる。しかし、いざ処遇のことになると、「シニア社員ですから」と言われて、給料は半分以下。残業割り増しは法律の最低水準で低く、カフェテリアプランも無し。こんな働かされ方には怒り心頭だが辞めるわけにもいかないし…。何とかしてほしい。

(情制シ)

構内道路混雑で危険

緊急に安全対策を

資材検収が各製造部は分散してから中央メイン道路が大変混雑しています。製品の荷降ろしや積み出し、構内運搬のフオークリフト・自転車など、時間帯によってはかなり危険な状態となっています。

「事故でも起きなければよいが」「自転車で通るのもおっかない」「緊張が極度に高まる」などなどの声に耳を傾け、早急に安全対策の施策を講じてほしいものです。(旧国分)

ホカ弁販売打ち切りでガツカリ

建設中の新食堂が完成したのに合わせ、海側食堂脇でのホカ弁販売がなくなった。短い期間だったが好評で売れ行きは上々だったようだ。並はずにすぐ買えたのも良かった。

今後は海側食堂売店で販売することのだが、売店の混雑ぶ

りを見るとウンザリしてしまつて売店の混雑をどうにかして改善するか、ホカ弁販売所を設けてほしい。

(情制シ)

安らげる場所なくては

新しい建屋の建設や環境設備の建設等でバレーコートや樹木がなくなりました。昼休みの憩いの場所として利用していた人もたくさんいました。

昼休みのひと時、仕事を忘れ心の安らぎを求められる場所がもっとあってほしいものです。

(旧国分)

中部電力の損害賠償請求で冬のボーナス心配?

中部電力から浜岡原発タービン破損事故にもなう燃料経費などを日立に賠償請求する訴訟が報道された。

職場では、「また電力事業部の『業績改善策』なみに労働条件の引き下げとならなければ良いのだが」「冬のボーナスが心配」などと話されたている。

事故は、GOサインを出した経営者が責任を負うべきで、その部門で働いている労働者全員に責任を転嫁すべきではないと思つた。

(AEパワー)

インターンシップ 高専生に交通費も出ず

先月、勝田高専の男子生徒がインターンシップ(企業の労働現場での体験学習)でソフト関係の設計に came ました。3週間という結構長いものでしたが、立会い試験間近の製品の試験データとりで大いに貢献してもらったようです。

この制度はどこでもやられていて、期間などの条件はさまざま

まなようですが、交通費は当然で、少額でも日当が支払われる会社が多いようです。ところが、今回は交通費の支給もなし。まわりの人たちは、「エーツ!! ホント?」「地元の人とは言つてもねえ...」(情制シ)

またかーっ!! 紹介カードにうんざり

衆議院選挙間近:ということとで、職場に民主党候補のリーフと「支持者紹介カード」が配られました。

「もううんざりだねえ...」

「寮生は2名紹介と言われたつて誰もいないつすよ」「カードに書く」と。さんの紹介で:」とか言つて電話されるみただから、適当に書いたらまずいよ」「また期日前投票をやらされんのかなあ」「こんな運動にかけるお力ネ、どうなつてんのかなあ?」「何かオレらに役に立つことやつてくれてんの?」。

飲み過ぎにご注意

最近会社から報告のあつた情報漏えいの事例紹介によると、仕事の後に深酒して外で寝込んでしまい、カバンなどを取られたとのこと。また、セクハラ発生の事例報告もありましたが、こちらも懇親会などでの飲酒後に発生しているものほとんどです。

どちらもコンプライアンスの意識に問題ありますが、過度な飲酒は普段の理性を失わせてしまいます。「酒は飲んで飲まれるな」を教訓にした

